



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2022年3月31日

寄附者 八千代エンジニアリング株式会社

 八千代エンジニアリング株式会社

「我が国のインフラ設計・マネジメント技術の継承・発展のための実践的研究」



教員

教授	山田 忠史	特任教授	小林 潔司
客員教授	藤木 修	特命教授	西田 純二
特定講師	ドイル 恵美	特命講師	渡辺 肇

研究活動

本講座では、アジア諸国を中心に需要が高まっているメガ・インフラに焦点をあて、具体的なビジネス機会の創出、プロジェクト・ビジネスモデル形成の方法論も含めた実践的な調査・研究を中心に活動していきます。具体的には、アジア諸国の協力大学・機関と連携をとりながら、各国におけるメガ・インフラの設計に関わる関連諸制度、日本企業による市場参入の可能性に関する実態調査を行うとともに、日本企業による現地法人設立とその展開に関するケース研究を推進し、東南アジア諸国におけるビジネス機会の創出、プロジェクト形成の方法論に関する実践的な知見を習得し、日本国内のグローバル人材、特にエンジニアおよび技術者たちの育成を長期的に支援していく教育・研究プログラムの開発を目指します。

目的

近年の世界的な自然災害の激化、高度情報化の急速な進展など、我々を取り巻く環境は刻々と変化しており、社会経済や市民生活を支えるインフラの整備においても戦略的な技術開発と実践が求められています。また、基礎的なインフラの整備は、多くの途上国等にとって社会及び経済の発展に不可欠であり、日本政府は長年にわたり途上国等におけるインフラ整備を支援しており、引き続きインフラシステム輸出戦略を通じて世界に貢献することを約束しています。寄附元である八千代エンジニアリング株式会社は、「この世界に、新しい解を。(Innovative Solutions for the Society)」をビジョンとして、信頼と実績、そして確かな技術と柔軟な発想で、国内外のインフラ整備に貢献してきました。これは誰1人取り残されない社会を目指す SDGs の考え方にも合致しており、事業活動をもって SDGs の達成を推進しています。本講座は、膨大なインフラ整備の需要を抱えるアジア地域において、日本国内で培われた技術と長年の国際協力を通じて得られた経験を融合し、世界の社会問題を解決したいとの想いから開設されました。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です